

【規格名（和名）】

処方・注射オーダー標準用法規格

【規格名（命名）】

Standard administration (frequency and timing) code of prescription and injection order on computerized physician's order entry system for medical treatment

【規格の目的（ユースケースを含む）】

「内服薬処方せんの記載方法の在り方に関する検討会報告書」（2010年1月、厚生労働省医政局総務課医療安全推進室）の「服用回数、服用のタイミングに関する標準用法マスタ」の使用、整備に関する記載を受け、（公社）日本薬剤師会と（一社）日本病院薬剤師会より公表された「標準用法用語集」に掲載された用法と用語を対象として、医療情報システム実装のためのコード化を（一社）日本医療情報学会が担当しました。近い将来の電子処方箋も視野に入れた、処方・注射オーダー情報の標準化を目的としています。

【規格の適応領域】

処方・注射オーダーリングシステム等、医療情報連携での使用を想定しています。

【関連他標準との関係】

本書は「標準用法用語集」で提示され

る標準用法一覧に記載されている用法と用語だけを対象としてそのコード化を行うものとし、用法記述について本仕様独自の変更や追加は原則として行いません。また、JAHIS 標準（処方データ交換規約、注射データ交換規約）や SS-MIX2（処方オーダー、注射データ）等との関連があります。

【規格の入手方法】

本書は、日本医療情報学会のホームページ <http://www.jami.jp/> から入手できます。また、「標準用法用語集」は、日本病院薬剤師会のホームページ <http://www.jshp.or.jp/cont/16/0120-1.html> より入手可能です。

【メンテナンス状況】

本書のメンテナンスは日本医療情報学会の標準策定・維持管理部会が必要に応じて行います。また、用語集のメンテナンスは日本病院薬剤師会および日本薬剤師会で行いますが、双方で同期をとって実施します。

【現在の改版状況】

2016年2月現在、本書の最新版は2016年1月に制定された「処方・注射オーダー標準用法規格」です。「標準用法用語集（第2版）」に基づいています。